

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 鴨川グランドホテル

コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 健史

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 四野宮 章

TEL 03-3633-3715

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,065	△13.7	11	△93.4	△51	—	△72	—
21年3月期第3四半期	3,549	—	180	—	113	—	87	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△6.91	—
21年3月期第3四半期	8.43	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	7,400	1,216	16.4	59.04
21年3月期	7,646	1,305	17.1	66.30

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,216百万円 21年3月期 1,305百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,070	△10.3	0	—	△100	—	△130	—	△12.45

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	10,453,920株	21年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	15,569株	21年3月期	15,169株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	10,438,473株	21年3月期第3四半期	10,439,349株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は下記のとおりです。

（基準日）	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	11.13	11.13
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 （予想）	—	—	—	11.00	11.00

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、好調な新興国経済に牽引され、輸出や生産の回復が続いております。反面、円高やデフレが企業収益の圧迫要因となっております。また、個人消費も、雇用、所得の不安要因から低調な動きが続いております。

一方、リゾートホテル業界におきましても、景気の低迷による影響で法人団体需要や出張等の減少、個人客も新型インフルエンザや雇用、所得の不安要因から減少する等、厳しい状況が続いております。また、レストラン業界も法人需要の低迷、消費者の節約志向等の影響で依然として厳しい環境となっております。

そのような中で当社は、厳しい環境を打破すべく、インターネット販売の拡充やビジネスホテルへのインバンド誘致等、全事業所で一丸となり販売力強化に取り組むとともに、新規設備投資の凍結、更なる経費の削減等に努めてまいりました。

しかしながら、ホテル事業が景気の低迷により、今までにない厳しい環境が続いております。

その結果、第3四半期累計期間の売上高は3,065百万円（前年同四半期比13.7%減）、営業利益11百万円（前年同四半期比93.4%減）、経常損失51百万円（前年同四半期は113百万円の利益）、四半期純損失72百万円（前年同四半期は87百万円の利益）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ246百万円減少し、7,400百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ2百万円増加し、779百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が48百万円減少したものの、現金及び預金が39百万円、たな卸資産が15百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ244百万円減少し、6,619百万円となりました。これは主に、建物が160百万円、差入保証金が40百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ176百万円減少し、5,233百万円となりました。これは主に、借入金51百万円、社債が100百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ19百万円増加し、950百万円となりました。これは主に、借入金45百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ89百万円減少し、1,216百万円となりました。これは主に、四半期純損失72百万円の発生によるものであります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ39百万円増加し、482百万円となりました。

当第3四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は123百万円（前年同四半期比67.4%減）となりました。これは主に、税引前四半期純損失64百万円を計上したものの、売上債権の回収48百万円に、減価償却費194百万円の非資金損益項目を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により得られた資金は35百万円（前年同四半期は302百万円の使用）となりました。これは主として、差入保証金の回収があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は118百万円（前年同四半期は186百万円の使用）となりました。これは、長期借入れによる資金の調達があったものの、社債の償還及び借入金の返済があったことによるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

現時点における通期の業績予想につきましては、平成21年11月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	482,465	442,544
受取手形及び売掛金	144,471	192,544
たな卸資産	67,223	51,892
未収入金	12,137	9,158
その他	73,850	81,241
貸倒引当金	△566	△726
流動資産合計	779,582	776,654
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,451,571	12,484,474
減価償却累計額	△7,957,294	△7,829,633
建物(純額)	4,494,276	4,654,840
構築物	537,911	537,911
減価償却累計額	△459,845	△454,384
構築物(純額)	78,066	83,527
機械及び装置	266,608	266,608
減価償却累計額	△233,138	△231,258
機械及び装置(純額)	33,469	35,350
車両運搬具	57,635	51,859
減価償却累計額	△48,724	△49,242
車両運搬具(純額)	8,911	2,617
工具、器具及び備品	979,075	966,748
減価償却累計額	△848,741	△831,459
工具、器具及び備品(純額)	130,334	135,288
土地	1,087,858	1,087,858
リース資産	12,771	9,684
減価償却累計額	△3,425	△1,374
リース資産(純額)	9,345	8,310
有形固定資産合計	5,842,260	6,007,792
無形固定資産	42,062	44,062
投資その他の資産		
投資有価証券	87,906	92,722
差入保証金	349,762	390,402
保険積立金	265,861	291,199
その他	38,543	44,513
貸倒引当金	△6,694	△6,720
投資その他の資産合計	735,379	812,117
固定資産合計	6,619,702	6,863,971
繰延資産		
社債発行費	1,068	6,131
繰延資産合計	1,068	6,131
資産合計	7,400,353	7,646,757

（単位：千円）

	当第3四半期会計期間末 （平成21年12月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年3月31日）
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	144,407	117,298
短期借入金	3,608,250	3,625,350
1年内返済予定の長期借入金	623,230	657,190
1年内償還予定の社債	500,000	600,000
未払金	5,254	8,801
未払費用	208,558	207,282
未払法人税等	9,862	14,622
未払消費税等	20,372	9,294
賞与引当金	18,032	35,567
その他	95,160	134,253
流動負債合計	5,233,128	5,409,660
固定負債		
長期借入金	109,820	63,990
繰延税金負債	2,714	5,141
退職給付引当金	109,572	104,655
役員退職慰労引当金	52,696	62,773
長期預り保証金	663,525	682,475
その他	12,634	12,662
固定負債合計	950,962	931,697
負債合計	6,184,091	6,341,357
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	90,315	175,807
自己株式	△3,390	△3,311
株主資本合計	1,212,274	1,297,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,988	7,554
評価・換算差額等合計	3,988	7,554
純資産合計	1,216,262	1,305,399
負債純資産合計	7,400,353	7,646,757

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）
営業収益	3,549,727	3,065,174
営業費用	3,369,551	3,053,330
営業利益	180,176	11,843
営業外収益		
受取保険金	10,631	1,426
その他	10,873	9,494
営業外収益合計	21,504	10,921
営業外費用		
支払利息	75,232	63,620
その他	13,279	10,551
営業外費用合計	88,512	74,172
経常利益又は経常損失（△）	113,168	△51,407
特別利益		
店舗移転補償金	88,406	—
貸倒引当金戻入額	2,548	—
特別利益合計	90,954	—
特別損失		
固定資産売却損	81,497	—
固定資産除却損	27,414	13,481
特別損失合計	108,912	13,481
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	95,209	△64,888
法人税、住民税及び事業税	7,247	7,247
法人税等合計	7,247	7,247
四半期純利益又は四半期純損失（△）	87,962	△72,135



## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	95,209	△64,888
減価償却費	204,002	194,696
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,699	△186
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,024	△17,535
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,475	4,917
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,390	△10,077
受取利息及び受取配当金	—	△1,207
支払利息	69,235	59,938
社債利息	5,997	3,682
社債発行費償却	5,991	5,062
固定資産売却損益 (△は益)	81,497	—
固定資産除却損	18,833	6,681
売上債権の増減額 (△は増加)	39,469	48,072
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,275	△15,331
前払費用の増減額 (△は増加)	3,462	△6,949
未収入金の増減額 (△は増加)	7,060	△2,979
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,245	27,109
未払金の増減額 (△は減少)	△16,638	△694
未払費用の増減額 (△は減少)	18,297	198
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,260	11,077
前受金の増減額 (△は減少)	△38,110	△35,530
預り金の増減額 (△は減少)	△8,639	△4,225
預り保証金の増減額 (△は減少)	△54,385	△18,950
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△300	△500
その他	3,252	3,468
小計	448,607	185,848
利息及び配当金の受取額	1,102	834
利息の支払額	△61,929	△53,835
法人税等の支払額	△9,802	△9,663
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,978	123,185
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△346,038	△35,578
固定資産の売却による収入	41,576	—
投資有価証券の取得による支出	△1,099	△799
差入保証金の差入による支出	△338	△20
差入保証金の回収による収入	—	40,622
その他の支出	△1,993	△1,993
その他の収入	5,837	33,169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△302,054	35,400

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△17,100	△17,100
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△54,600	△88,130
社債の償還による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△198	△78
配当金の支払額	△14,328	△13,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186,226	△118,664
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△110,302	39,920
現金及び現金同等物の期首残高	614,355	442,544
現金及び現金同等物の四半期末残高	504,053	482,465

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。